特定非営利活動法人　青い空

ー子ども・人権・非暴力

定　　款

2003年12月8日　認証

この写しは原本と相違ありません。

2015年6月1日

特定非営利活動法人青い空ー子ども[redacted]非暴力

代　表　理　事　　丸　田　勝　弘

特定非営利活動法人青い空-子ども・人権・非暴力定款

第１章 総 則

（名 称）

第１条　この法人は、特定非営利活動法人青い空ー子ども・人権・非暴力という。

（事務所）

第２条　この法人は、主たる事務所を東京都板橋区に置く。

（目 的）

第３条　この法人は、子どもとその子どもを取り巻く社会に対して、一人一人が自分らしく生きる力を育てるために、子ども育ち、人権、暴力防止に関する啓発事業、自己表現や護身術など技能習得等の事業を行い、子どもをはじめ、すべての人々の人権が尊重され、安心して暮らせる地域社会の形成に寄与することを目的とする。

（特定非営利活動の種類）

第４条　この法人は、前条の目的を達成するため、次の種類の特定非営利活動を行う。

（１）人権の擁護又は平和の推進を図る活動
（２）子どもの健全育成を図る活動
（３）地域安全活動
（４）社会教育の推進を図る活動

（事業の種類）

第５条　この法人は、第３条の目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として、次の事業を行う。

（１）子どもへの暴力防止プログラム（ＣＡＰ）の提供
　① CAP子どもワークショップ
　② CAP大人ワークショップ
（２）子どもへの暴力防止プログラム（ＣＡＰ）を提供する人材の養成と研修事業
（３）子ども育ち、人権、非暴力に関する講演会事業
（４）子ども育ち、人権、非暴力に関するワークショップ事業
（５）子ども育ち、人権、非暴力に関する情報提供及び相談事業
（６）子ども育ち、人権、非暴力に関する調査及び研究事業
（７）子ども育ち、人権、非暴力に関する他団体との交流事業
（８）その他、第３条の目的を達成するために必要な事業

第２章 会 員

（種 別）

第６条　この法人の会員は、正会員、賛助会員の２種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下「法」という。）上の社員とする。

（１）正会員　　この法人の目的に賛同し、入会した個人

（２）賛助会員　この法人の目的に賛同し、賛助するために入会した個人及び団体

（入 会）

第７条　入会については、特に条件は定めない。

２　会員として入会しようとするものは、理事会が別に定める入会申込書により、理事会に申し込むものとする。

３　理事会は、前項の申し込みがあったとき、正当な理由がない限り、入会を認めなければならない。

４　理事会は、第２項の者の入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

（会　費）

第８条　会員は、理事会において別に定める会費を納入しなければならない。

（会員の資格の喪失）

第９条　会員が次の各号のいずれかに該当する場合には、その資格を喪失する。

（１）退会届の提出をしたとき。

（２）本人が死亡し、若しくは失そう宣告を受け、又は会員である団体が消滅したとき。

（３）正当な理由なく１年以上会費を滞納し、催告を受けてもそれに応じず、納入しないとき。

（４）除名されたとき。

（退 会）

第10条　会員は、理事会が別に定める退会届を理事会に提出して、任意に退会することができる。

（除 名）

第11条　会員が次の各号のいずれかに該当する場合には、総会の議決により、これを除名することができる。

（１）この定款に違反したとき。

（２）この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

２　前項の規定により会員を除名しようとする場合は、議決の前に当該会員に弁明の機会を与えなければならない。

（拠出金品の不返還）

第12条　会員が納入した会費その他の拠出金品はその理由を問わず、これを返還しない。

第3章 役 員 等

（種別及び定数）

第13条　この法人に、次の役員を置く。

（1）理事３人以上８人以内

（2）監事１人以上２人以内

2　理事のうち１人を代表理事とし、２人を副代表理事に置くことができる。

（選任等）

第14条　理事及び監事は、総会において選任する。

2　代表理事及び副代表理事は、理事の互選とする。

3　役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは三親等以内の親族が１人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び三親等以内の親族が役員の総数の３分の１を超えて含まれることになってはならない。

4　法第20条各号のいずれかに該当する者は、この法人の役員になることができない。

5　監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねてはならない。

（職 務）

第15条　代表理事は、この法人を代表し、その業務を総括する。

2　副代表理事は、代表理事を補佐し、代表理事に事故があるとき又は代表理事が欠けたときは、代表理事があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。

3　理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び総会または理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。

4　監事は、次に掲げる職務を行う。

（1）理事の業務執行の状況を監査すること。

（2）この法人の財産の状況を監査すること。

（3）前２号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。

（4）前号の報告をするために必要がある場合には、総会を召集すること。

（5）理事の業務執行の状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べること。

（任期等）

第16条　役員の任期は、２年とする。ただし、再任を妨げない。

２　前項にかかわらず、後任の役員が選任されていない場合には、任期の末日後最初の総会が終結するまでその任期を伸長することができる。

３　補欠のため、又は増員により就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。

４　役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

（欠員補充）

第17条　理事又は監事のうち、その定数の３分の１を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

（解　任）

第18条　役員が次の各号のいずれかに該当する場合には、総会の議決により、これを解任することができる。

（１）心身の故障のため、職務の遂行に堪えないと認められるとき。

（２）職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき。

２　前項の規定により役員を解任しようとする場合は、議決の前に当該役員に弁明の機会を与えなければならない。

（報酬等）

第19条　役員には、報酬を支給しない。

２　役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。

３　前項に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、代表理事が別に定める。

平成25年7月4日（運営委員）

第20条　この法人に、事業の運営を円滑に行うため、運営委員を置く。

２　運営委員は、代表理事の指示に基づき、この法人の事業運営に関する業務を行う。

３　運営委員に関する事項は、理事会の議決を経て、その細則を定める。

第４章　会　議

（種　別）

第21条　この法人の会議は、総会及び理事会の２種とする。

２　総会は、通常総会及び臨時総会とする。

（総会の構成）

第22条　総会は、正会員をもって構成する。

（総会の権能）

第23条　総会は、以下の事項について議決する。

（１）定款の変更

（２）解散及び合併

（３）事業計画及び収支予算並びにその変更

（４）事業報告及び収支決算

（５）役員の選任又は解任、職務、報酬

（６）解散における残余財産の帰属先

（７）その他運営に関する重要事項

（総会の開催）

第24条　通常総会は、毎年１回開催する。

２　臨時総会は、次に掲げる場合に開催する。

（１）理事会が必要と認め、招集の請求をしたとき。

（２）正会員総数の５分の１以上から会議の目的を記載した書面により招集の請求があったとき。

（３）監事が第15条第４項第４号の規定に基づいて招集するとき。

（総会の招集）

第25条　総会は、前条第２項第３号の場合を除いて、代表理事が招集する。

２　代表理事は、前条第２項第１号及び第２号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。

３　総会を招集する場合には、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電子メールにより、開催の日の少なくとも５日前までに通知しなければならない。

（総会の議長）

第26条　総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する。

（総会の定足数）

第27条　総会は、正会員総数の２分の１以上の出席がなければ開会することはできない。

（総会の議決）

第28条　総会における議決事項は、第25条第３項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

２　総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（総会での表決権等）

第29条　各正会員の表決権は平等なるものとする。

2　やむを得ない理由により総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

3　前項の規定により表決した正会員は、前２条の規定の適用については出席したものとみなす。

4　総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議事の議決に加わることができない。

（総会の議事録）

第30条　総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

（１）日時及び場所

（２）正会員総数及び出席者数（書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。）

（３）審議事項

（４）議事の経過の概要及び議決の結果

（５）議事録署名人の選任に関する事項

2　議事録には、議長及び総会において選任された議事録署名人２名が、記名押印又は署名しなければならない。

（理事会の構成）

第31条　理事会は、理事をもって構成する。

（理事会の権能）

第32条　理事会は、次の事項を議決する。

（１）総会に付議すべき事項

（２）総会の議決した事項の執行に関する事項

（３）会費の額

（４）借入金（その事業年度内の収入をもって償還する短期借入金を除く。第50条において同じ。）その他新たな義務の負担及び権利の放棄

（５）事務局の組織及び運営

（６）その他総会の議決を要しない業務の執行に関する事項

（理事会の開催）

第33条　理事会は、次に掲げる場合に開催する。

（１）代表理事が必要と認めたとき。

（２）理事総数の２分の１以上から理事会の目的である事項を記載した書面により招集の請求があったとき。

（理事会の招集）

第34条　理事会は、代表理事が招集する。

2　代表理事は、前条第２号の場合にはその日から14日以内に理事会を招集しなければならない。

3　理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電子メールにより、開催の日の少なくとも５日前までに通知しなければならない。

（理事会の議長）

第35条　理事会の議長は、代表理事もしくは代表理事が指名した者がこれに当たる。

（理事会の議決）

第36条　理事会における議決事項は、第33条第３項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。ただし、議事が緊急を要するもので、理事総数の２分の1以上の同意があった場合は、この限りではない。

2　理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（理事会の表決権等）

第37条　各理事の表決権は、平等なるものとする。

2　やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。

3　前項の規定により表決した理事は、前条及び次条第１項の適用については、理事会に出席したものとみなす。

4　理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。

（理事会の議事録）

第38条　理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

（1）日時及び場所

（2）理事総数、出席者数及び出席者氏名（書面表決者にあっては、その旨を付記すること。）

（3）審議事項

（4）議事の経過の概要及び議決の結果

（5）議事録署名人の選任に関する事項

2　議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人２名が記名押印又は署名しなければならない。

第５章 資 産

（構 成）

第39条　この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

（１）設立当初の財産目録に記載された資産

（２）会費

（３）寄付金品

（４）財産から生じる収益

（５）事業に伴う収益

（６）その他の収益

（区 分）

第40条　この法人の資産は、特定非営利活動に係る事業に関する資産の1種とする。

（管 理）

第41条　この法人の資産は、代表理事が管理し、その方法は、総会の議決を経て、理事会が別に定める。

第６章 会 計

（会計の原則）

第42条　この法人の会計は、法第27条各号に掲げる原則に従って行わなければならない。

（会計区分）

第43条　この法人の会計は、特定非営利活動に係る事業会計の１種とする。

（事業年度）

第44条　この法人の事業年度は、毎年４月１日に始まり、翌年３月３１日に終わる。

（事業計画及び予算）

第45条　この法人の事業計画及びこれに伴う活動予算は、毎事業年度ごとに代表理事が作成し、総会の議決を経なければならない。

（暫定予算）

第46条　前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、代表理事は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収益費用することができる。

２　前項の収益費用に成立した予算の収益費用とみなす。

（予備費）

第47条　予算超過又は予算外の支出に充てるため、予算中に予備費を設けることがで

きる。

2　予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

（予算の追加及び更正）

第48条　予算成立後にやむを得ない事由が生じたときは、総会の議決を経て、既定予算の追加又は変更をすることができる。

（事業報告及び決算）

第49条　この法人の事業報告書、財産目録、貸借対照表及び活動計算書等決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、代表理事が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。

2　決算上剰余金を生じたときは、次事業年度に繰り越すものとする。

（臨機の措置）

第50条　予算をもって定めるもののほか、借入金の借入れその他新たな義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事会の議決を経なければならない。

第７章 定款の変更、解散及び合併

（定款の変更）

第51条　この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の３分の２以上の多数による議決を経、かつ、法第25条第３項に規定する事項については所轄庁の認証を得なければならない。

（解　散）

第52条　この法人は、次に掲げる事由により解散する。

（１）総会の決議

（２）目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能

（３）正会員の欠亡

（４）合併

（５）破産

（６）所轄庁による設立の認証の取消し

2　前項第１号の事由によりこの法人が解散するときは、正会員総数の３分の２以上の承諾を得なければならない。

3　第１項第２号の事由により解散するときは、所轄庁の認定を得なければならない。

（残余財産の帰属）

第53条　この法人が解散（合併又は破産による解散を除く）したときに残存する財産は、法第11条第３項に掲げる者のうち、総会において議決した者に譲渡するも

のとする。

（合 併）

第54条　この法人が合併しようとするときは、総会において正会員総数の３分の２以上の議決を経、かつ、所轄庁の認証を得なければならない。

第８章 公告の方法

（公告の方法）

第55条　この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載してこれを行う。

第９章　事務局

（事務局及び職員）

第56条　この法人に、事務を処理するため事務局を設け、事務局長その他の職員を置く。

２　事務局長は、理事会の議決を経て代表理事が委嘱し、職員は代表理事が任免する。

３　事務局の組織及び運営に関する必要な事項は、理事会の議決を経て、その細則を定める。

第10章　雑 則

（細則）

第57条　この定款の施行について必要な細則は、理事会の議決を経て、代表理事がこれを定める。

附則

１　この定款は、この法人の成立の日から施行する。

２　この法人の設立当初の役員は、別表のとおりとする。

３　この法人の設立当初の役員の任期は、第16条第１項の規定にかかわらず、この法人の成立の日から平成１７年５月３１日までとする。

４　この法人の設立当初の事業年度は、第44条の規定にかかわらず、この法人の成立の日から平成１６年３月３１日までとする。

５　この法人の設立当初の事業計画及び収支予算は、第45条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによる。

６　この法人の設立当初の会費は、第８条の規定にかかわらず、次に掲げる額とする。

(1)年会費　　正会員　　５，０００円

賛助会員　　個人（１口）　２，０００円（１口以上）

団体（１口）１０，０００円（１口以上）

別 表　設立当初の役員（～２００７年５月３１日）

役職名	氏　名
代表理事	髙柳　葉子
副代表理事	西村　説子
副代表理事	長谷　有美子
理　事	岩田　和子
同	金子　功
同	橋本　真佐子
同	森田　圭子
監　事	進士　こみち

２００７年６月１日からの役員（～２００９年５月３１日）

役職名	氏　名
代表理事	髙柳　葉子
副代表理事	西村　説子
副代表理事	長谷　有美子
理　事	木村　清輝
同	鈴木　力
同	橋本　真佐子
同	宮里　和則
監　事	進士　こみち

２００９年６月１日からの役員

役職名	氏　名
代表理事	髙柳　葉子
副代表理事	西村　説子
副代表理事	鈴木　力
理　事	木村　清輝
同	橋本　真佐子
同	宮里　和則
監　事	黒田典子

２０１１年６月１日からの役員

役職名	氏　名
代表理事	髙柳　葉子
副代表理事	西村　説子
副代表理事	鈴木　力
理　事	木村　清輝
同	宮里　和則
監　事	黒田典子

２０１３年６月１日からの役員

役職名	氏　名
代表理事	髙柳　葉子
副代表理事	西村　説子
副代表理事	鈴木　　力
理　事	坂元　佳子
同	二宮　千代子
同	宮里　和則
監　事	黒田典子

２０１５年６月１日からの役員

役職名	氏　名
代表理事	丸田　勝弘
副代表理事	坂元　佳子
副代表理事	三浦　昌恵
理　事	北村　年子
同	髙柳　葉子
同	宮里　和則
監　事	黒田　典子